平成29年度 第2回アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK) 事業運営懇話会



未来の イメージ 共有

地域を知る互いを知る

新たな 活動の創出

平成29年10月24日

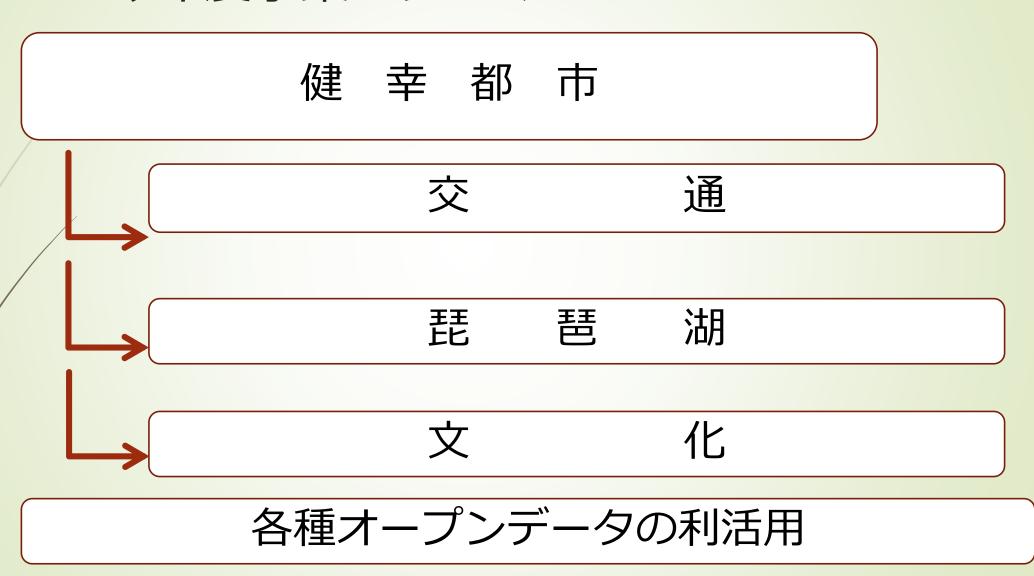




全体の流れ

	(報告)	平成29年度活動実績について(前期)	3
	(報告)	平成29年度活動計画について(後期)	13
	(報告)	オープンスペース利用について	16
Ì	(協議)	法人化の検討について	19

今年度事業のテーマ



UDCBK事業

	機能	内容	回(件)数
アーバンデザインスクール	学 習	UDCBKの運営を担う媒介の専門家・地域の専門 家の育成を目的に必要な知識等の取得を行う	5回 (2期) 10回
未来創造セミナー	交流	多様な人々の交流を目的に草津の歴史や草津に住 む人々のライフストーリー等を語ってもらう場	
	学習	産学公民連携により、草津の未来のイメージを具 現化するアイデアを纏め、調査研究や社会実験等 に接続	10~16
UDCBK社会実験 事前調査事業	社会実験	「草津市社会実験推進事業」を改称 「学習・交流」「調査研究」を経て、提案された 案から社会実験をデザインするために必要な調査 事業。新たな制度や技術を社会に導入した場合の 影響評価や社会実験をデザインするための小規模 実験等を行う。	6件

平成29年度アーバンデザインスクール(前期)

- ・将来UDCBKの運営の担い手となる「媒介の専門家」「地域の専門家」の育成を目的とする。
- ・4回の講演のあと、第5回にワークショップを実施した。
- ・全回のコーディネーターは塩見康博氏(立命館大学理工学部准教授)

	1	2	3	4	5	
開催日時	6月28日(水) 18:30~20:00	7月12日(水) 18:30~20:00	8月25日(金) 18:30~20:00	9月2日(土) 10:30~12:00	10月14日(土) 10:30~12:15	
テーマ	未来の交通を考えるために 知っておきたいこと	欧州諸都市の経験に学ぶ "誰でもが安全に歩いて暮 らせるまちづくり" (人中心のまちづくり)	まちなかの渋滞や 交通事故のリスク を減らすまちづくり (気まぐれな私的交通 を調整する)	誰でもが自由に快適に移 動できるまちづくり (あらためて公共交通を 考える)	ワークショップ 草津の未来の交通を考える	
会場	市民交流プラ	が中会議室	UDCBK新拠点			
話題提供者	塚口博司氏 立命館大学理工学部 特任教授	岡井有佳氏 立命館大学 理工学部准教授	小川圭一氏 立命館大学 理工学部教授	近藤宏一氏 立命館大学 経営学部教授	塩見康博氏 立命館大学 理工学部准教授	
参加者数	35	23	14	20	12	

※3回以上参加した方には、修了証書を贈呈しました。(13人)

平成29年度未来創造セミナー

- ・学習・交流を目的に実施
- ・この場から、異なる考えを知り、さらに各自が考えを深め、次のテーマを見つけ出すことを支援

この物がつ、共体の方人で加り、とうに合う				(0)) ((-)0)	が田りここで文法
	1	2	3	4	5
開催日時	6月9日(金) 18:30~19:30	8月5日 (土) 10:30~12:00	8月26日(土) 14:00~15:30	9月15日(金) 18:30~20:00	10月18日(水) 18:30~20:00
テーマ	「新しく生まれ変わる UDCBK」	市民も変わる、 行政も変わる!! オープンガバナンス	草津ってどんな感じ? 〜目印、遊び場、気に なる場所〜	予測不能な時代の 未来のまちづくり を考える	みんなでつくる 「まちライブラリー」
講演者等	及川センター長 武田副センター長	奥村裕一氏 東京大学公共政策 大学院客員教授	山口純氏 (一社) エスコーラ 理事	小林傳司氏 大阪大学理事・ 副学長	磯井純充氏 まちライブラリー 提唱者
参加者数	23	16	34	23	20
備考	平成29年8月1日に西友 南草津店1階に移転す るUDCBKのコンセプト などの説明	オープンガバナンスの 説明と草津市も参加し た「チャレンジ!!オープ ンガバナンス (COG)2016」の報告 とCOG2017の説明	参加者が描いたくさつ のまちのイメージを参 考にした草津の魅力な どの分析	政策に新たな科学 技術や科学的知見 をとり入れる際の 政策形成プロセス への市民参加の必 要性と欧州の合意 形成手法の紹介	本を通じて市民の交流 を深める手法について 学び、UDCBKの本 棚の活用可能性につい て考える。

その他平成29年度実施事業

I		1	2	3	4	5
	開催日時	8月4日(金) 13:30~15:00	9月9日(土) 10:00~12:00	9月16日(土) 11:00~12:00	10月11日(水) 14:00~16:00	10月17日(火) 12:00~13:00
	テーマ	市民も変わる、 行政も変わる!! オープンガバナンス	UDCBKで成安造形大学の授業を体験しよう!	立命館大学生と SDGsを考える	セレンディピティ TIME in UDCBK	ぼうさいミーティング
	講演者等	奥村裕一氏 東京大学公共政策 大学院客員教授	三宅正浩氏 成安造形大学特任准教授	立命館大学 Sustainable Week 実行委員会	まちづくり協働課 (くさつ☆パール プロジェクト)	危機管理課 (防災おにぎり委員会)
	参加者数	26	21 (学生14、市民7)	47	33	24
	備考	オープンガバナンスと オープンガバナンス時 代における行政職員の あり方について、 COG2017の説明 (市職員研修)	成安造形大学の授業「草津アーバンデザインプロジェクト」の一環としてアートイベント企画の公開授業	SDGsの17の目標の説明 と、10月1日から6日ま で立命館大学(BKC)にて 実施されたSustainable Weekの概要説明	第1部: 草津の未来を語ろう☆ ワールドカフェ 第2部: まちづくりの達人☆プチトーク	「海を越えた防災」と題 して活動報告

※上記は、第1回運営懇話会(平成29年7月11日(火))以降に実施したものです。

UDCBK社会実験事前調查事業

- 委託テーマ:市(UDCBK)が提示するテーマ(別紙)
- ▶ 対象大学:包括協定締結大学
 - 立命館大学、滋賀大学、成安造形大学、京都橘大学、滋賀県立大学、滋賀医科大学
- ▶ 委託料100,000~150,000円程度(消費税抜)
- 採用事業数 6事業程度
 - ※委託料、採用事業数については、選定時に決定
 - ※各大学1委託を原則とするが、応募状況等により同大学に複数委託あり
- 募集期間 7月4日(火)~8月3日(木)

市(UDCBK)が提示するテーマ ①

Nº	テーマ	概要
1	南草津駅前広場等を想定した アートイベントの検討	南草津駅は2020年3月にオープン予定の県立新生美術館への玄関口のひと つである。新生美術館にふさわしいアート溢れる駅前づくりとするための イベント等の検討
2	空部屋・空き家等の利活用方法 の検討	草津市内のワンルームマンションの空き部屋を利活用するためのコンバー ジョン、またはリノベーションについての検討
3	妊婦サロン設置可能性、及び 運営手法の検討	UDCBKにおいて妊婦サロンの運営を試行的に実施しつつ、妊婦サロンに必要なソフト・ハード面の検討、及び事業化可能性の検討
4	バス等公共交通の利便性向上策 の検討	外国にルーツを持つ人々や初めて草津市を訪れた人でも気軽にバス等公共 交通が利用できるようサインシステムの検討、バスマップ等の作成、バス 停のデザイン、あるいはアプリ開発のアイデアを検討
5	南草津駅周辺の賑わい を創出するイベント等の検討	南草津駅周辺の広場や公園、あるいは路上等を利活用した賑わいを創出するイベント等の検討
6	誰でもがやさしく歩けるための 準公共空間のデザイン	障害を持つ人や幼い子どもと保護者、また高齢者が危険を感じることなく、 安心して歩ける準公共空間のデザインの検討

市(UDCBK)が提示するテーマ②

Nº	テーマ	概要
7		人々の健康に良い活動を誘発する空間をデザインするとともに、活動の効 果を測定するために必要なデータを収集する手法の検討
8	オープンデータを活用した 政策立案システムの検討	市の提供するオープンデータや民間のデータ等を利用して市民が任意の データを選択し、草津市の現状をビジュアル化して把握できるようにする とともに、様々な政策の立案を支援するシステムの検討
9	通勤・通学生と居住民が交流す るための防災活動の検討	草津市の昼夜間人口比率は1.09であり、昼間人口の方が多い。平日日中に 災害が発生した場合、通勤・通学者と子育て世代、高齢者が助けあう必要 がある。そのための平時から交流する防災活動の検討
10	外国にルーツを持つ人にも わかりやすい やさしい日本語による 医療コミュニケーションの検討	平成28年度に実施したUDCBK事業において、日常会話レベルの日本語を話すことのできる外国にルーツを持つ人から、「シクシク痛む」など医療機関等で症状を聞かれるが、感覚的に理解できないとの意見があった。 文化が異なる外国にルーツを持つ人であっても、医師等に症状を伝えることができる医療コミュニケーションの検討
11	市民参加による草津市の ジオラマ模型 制作手法の検討	市民により草津市のまちづくりを実感していただくために将来的にUDC BK内にジオラマ模型の設置を予定している。そのジオラマ模型の制作範 囲や制作方法、及び市民参加による制作ワークショップのデザインなどの 検討
12	その他上記テーマを参考にした 独自提案	参考にしたテーマの番号を記載のうえ、ご提案ください。

UDCBK社会実験事前調查事業提案内容

→ 立命館大学

[Sustainable Design Lab.]

立命館大学でのSustainable Weekの開催を踏まえて、立命館大学生だけでなく、草津市を中心とする市民に対して、体験型イベント、ワークショップ等を用いて、SDGsの考え方がワークショップに参加した市民の身近な生活レベルに落とし込むことができるかを調査する。

■ 成安造形大学

「琵琶湖のヨシを使用したアートワークの実施による南草津駅前広場におけるにぎわいの創出」」

昨年度からの継続事業で、ワークショップにより浮き彫りになった駅前広場に隠れた 問題点をアートワークにより解決し、にぎわい創出を図る。

■ 京都橘大学

「妊婦サロンにおける「産後早期の子育てに向けた家族教室(FFP)」の効果検証」 妊婦サロンとFFP開催について周知し、UDCBKの場を妊婦サロンと想定して「産後早 期の子育てに向けた家族教室(FFP)」を開催する。

COG (チャレンジ!!オープンガバナンス)

へのエントリー

東京大学公共政策大学院が主 催するオープンガバナンスの コンテスト

自治体が地域課題をエント リーし、市民団体や学生団体 がデータを活用して解決アイ デアを提案する。

【草津市エントリー内容】

- ①景観百選を活用したまちづくり(都市計画課)
- ②観光・物産振興にむけた キーパーソンの発掘・育成方 法(商工観光労政課)
- ③歩いて暮らせるまちづくり (地域課題検討ワークショッ プにおける市民提案)



データを活用し、地域課題を解決するコンテスト

2017

STEP2

市民/学生の解決アイデア募集中

近畿 滋賀県 草津市

3. まちづくり・交通 8. 観光

景観資源を観光資源として活かし、歩いて巡る草津 を実現するために必要なこと

草津市では、景観を生かしたまちづくりを推進し、美しい景観を市民共通の財産として次世代に引き継いでいくため、

「都市・田園景観」「まちなみ」「自然風景」「眺望」「暮らしの風景」「建造物・樹木」など、大切にしたい当市ならではの景観を「くさつ景観百選」として平成23年9月に選定しています。制定後、一部入替を経て概ね6年を経過しましたが、当初の課題でもありました個性ある良好な景観を守り育てるための啓発に努めるとともに、さらなる魅力的な景観資源の発掘、再発見につなげることについて、大きな広がりが見えていません。

景観を保全する方法のひとつとして、観光資源としての活用が考えられます。景観資源を観光資源として活用するにあたり、歴史や文化、現状を理解した上で行う必要があると考えております。

一方、景観資源(観光資源)のアクセス面も考慮する必要があります。特に観光客等外部からの訪問者はもとより、景観資源(観光資源)の周辺で生活している方々が安全で安心して暮らせるよう、そして、様々な人と交流できるよう、歩いて巡ることができることも重要です。

そのためには官民の連携はもとより、大学や市民も加えた産 学公民連携により、利用者の立場にたったアイデアやストー リーを考える必要があると考えています。

平成29年度アーバンデザインスクール(後期)

- ・将来UDCBKの運営の担い手となる「媒介の専門家」「地域の専門家」の育成を目的とする。
- ・「都市の風景のつくりかた」 5回シリーズで実施。
- ・全回のコーディネーターは武田史朗氏(立命館大学理工学部教授・UDCBK副センター長)

	1	2	3	4	5
開催日時	11月11日 (土) 15:00~16:30	12月16日(土) 15:00~16:30	1月6日(土) 15:00~16:30	2月17日(土) 15:00~16:30	3月17日(土) 15:00~16:30
テーマ	建築家と ランドスケープ	つかいこなしから生み 出す「公園」と「ま ち」のつくりかた	タクティカル・ アーバニズムが変 える都市の風景	まちを変える市民の アーバンピクニック	都市デザインの チカラ
話題提供者	活題提供者 (株式会社近代建築研究所所長/ 特定非営利法人パブリックスタイル研究所理事		泉山塁威氏 (都市経営・エリア・マネジメント・パブリックスペースマネジメント) (東京大学先端科学技術研究センター助教/ソトノバ編集長/UDCOアーバンデザインセンター大宮ディレクター)	村上豪英氏 (東遊園地パークマネジメント社会実験事務局長) (株式会社村上工務店/神戸モトマチ大学) 福岡孝則氏 (ランドスケープアーキテクト) (東京農業大学准教授/FD Landscape主宰)	小野寺康氏 (都市設計家) ((有)小野寺康都市設 計事務所 取締役代表)
参加者数					

14

平成29年度未来創造セミナー(予定)

- ・学習・交流を目的に実施
- ・この場から、異なる考えを知り、さらに各自が考えを深め、次のテーマを見つけ出すことを支援

	1	2	3	4	5	6	7
開催日時	12月から2月0	の毎月を予定(3回]シリーズ)	12月予定	未定	1月頃予定	未定
テーマ	志那の港	矢橋の港	山田の港	たぶん カフェ	ビブリオ バトル	古民具	都市のイ メージ
講演者等	未定	未定	未定	ベトナムの方	未定	未定	山口純
参加者数							
備考	草津の歴史、特に琵琶湖との関わりで湖上交通を取り上げ、その時代に育まれた文化を知る。草津三港を取り上げる。 全3回コーディネーターを草津宿街道交流館職員に依頼。			昨年度に引き続 オル きKIFAとの協働 にま ベトナムコミュ ロラ	UDCBKでビブリ オバトルを行う にあたり、ビブ リオバトルのコ	玉川小学校 に保管され ている古民 具を題材に	夏休みに実 施した「都 市のイメー
VII.	古代から比叡山と関係 の深い土地であり、湖 上交通で結ばれていた。	江戸時代に五街道が 整備されてから、京 への近道として湖上 交通を利用。「急が ば回れ」の語源の地	明治以降、鉄道開通までの間の一時期、 汽船航路として賑わう。	ニティと野路町 内会の交流を紹 介予定	ーティと野路町 ンセプトの説明 内会の交流を紹 と方法について		ジ」の続編を検討中。

その他平成29年度検討事業

	1	2	3	4	5
開催日時	12月16日(土) 13:00~14:30	10月未定から 11月10日(金)まで	未定	未定	未定
テーマ	南草津駅階段デザイン コンペ	たび丸を活用した P R 活動	図書館連携事業 ・まちライブラリー ・ビブリオバトル ・読み聞かせ会	包括協定締結大学との 連携事業	企業との連携事業
関係者等	健康福祉部	広報課	図書館等	包括協定締結大学	草津商工会議所
備考	南草津駅の階段の利用 促進のためのデザイン コンペ 審査委員として武田副 センター長	・ゆるキャラグランプリ 投票 ・たび丸シール探し	UDCBKの本棚を利用し た交流手法の検討	 ・市民や中高生を対象としたセミナーの開催 ・学生の研究発表や調査研究の場として市民参加型公開授業を開催 ・学生によるイベント会場として利用(但し、大学が存在を認めている学生団体であり、実施内容等について大学が承知していること) 	・ 企業のCSR

オープンスペース利用の4タイプ(案)

Ī		イベン	卜利用	フリー利用		
		タイプ 1	タイプ 2	タイプ3	タイプ 4	
	利用主体	UDCBK	UDCBK関連団体 ・市他部署 ・市関連団体 ・包括協定締結大学 ・企業	団体	個人	
	日時・場所	日時・場所等の確保(予約)可能		日時・場所の確保(予約)不可		
	使用条件	-	・UDCBKの理念に合致していること・オープン・無料	・オープン ・無料	-	
	広報	・市HP,UDCBKのFacebook に掲載	・各団体が個別に告知 ・UDCBKとしても告知	・各団体が集合場所として告知は可	-	
	使用例	・アーバンデザインスクール ・未来創造セミナー等	・市の事業・市関連団体の事業・包括協定締結大学関連事業 (詳細後述)・企業のまちづくり関連事業	・まちづくり関連団体の会合や作業	・個人学習・休憩	

オープンスペース イベント利用について

<イベント利用3原則>

- UDCBKの理念に合致していること
 - ▶月例の運営会議でセンター長と協議の上、判断
- → オープンであること
- 無料であること

くその他>

- ・移転後はセミナーを開催していない時は打合わせ場所や休憩場所として利用
- ・1日利用平均人数は30人程度
- ・包括協定締結大学や企業は、貸しスペースとしての利用はできないが、公開授 業やセミナーの開催場所として利用

オープンスペース タイプ2利用例

- ▶ 市の事業の会場として利用
 - 市の主催事業(市が他団体に委託した事業を含む)
 - ▶ 選挙投票啓発(10/14、10/18)
- 包括協定締結大学の研究拠点や交流拠点として利用
 - ▶ 市民や中高生を対象としたセミナーの開催
 - ▶ 学生の研究発表や調査研究の場として市民参加型公開授業を開催
 - ▶ 学生によるイベント会場として利用

(但し、大学が存在を認めている学生団体であり、実施内容等について大学が承知していること)

- 社会実験事前調査事業として利用
 - ▶ 成安造形大学 ヨシづくりワークショップ
 - 立命館大学 SDGs
 - ▶ 京都橘大学 妊婦のためのプログラム
- ▶ 企業
 - → 大阪ガス(株)の「Walkin' About」で利用

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ (UDCBK)の法人化について

法人化検討ワーキングの実施

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)の法人化についての検討ワーキング部会を発足し、方針等について検討する。

【メンバー】

氏名	所属
及川 清昭	立命館大学理工学部教授・キャンパス計画室長
肥塚 浩	立命館大学イノベーション・マネジメント研究センター長
加藤 幹彦	草津商工会議所専務理事
近清 雅彦	立命館大学びわこ・くさつキャンパス事務局長(オブザーバー)
田中祥温	草津市草津未来研究所副所長(オブザーバー)

- ・運営懇話会での議論に基づき、法人化に特化した検討ワーキング部会において、より具体的な検討を行う。
- ・今年度にワーキングを2回実施予定。その結果を運営懇話会にて提案する。

法人化検討スケジュール (案)

〈平成29年度〉

法人化検討ワーキングの実施(計2回)

⇒法人化の是非や方針について検討し、第3回運営懇話会へ提案する。

〈平成30年度〉

法人化の是非について、運営懇話会での決定事項に基づき方針を策定

⇒法人化する:平成31年度の法人化に向けて始動

法人化しない: 今後の運営方法について検討